



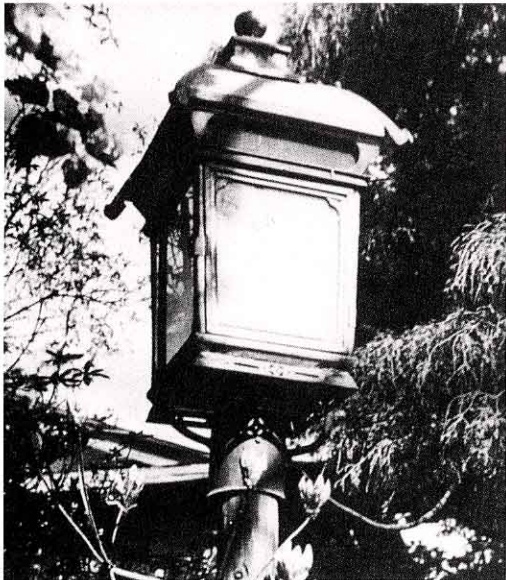
▲むかしの会津高田駅

わたしたちの町に鉄道が通ったのは、いまから約75年ぐらい前のことです。

いまでは、新潟の<sup>にいがた</sup>小出<sup>こいで</sup>というところまで鉄道は通っていますが、当時は、会津若松から会津坂下<sup>ばんげ</sup>までしか開通<sup>かいつう</sup>しませんでした。それでも会津高田町の人は大よろこびをして、おいおいをしました。

<sup>えき</sup>駅ができる20年ほど前には、高田<sup>ながい</sup>と永井野にガスとうがともされたり、1915年には、はじめて<sup>でん</sup>電とうがつき、ランプ生活がしだいになくなってきました。

そして、1921年には、<sup>かぶと みやかわすいりょくはつでんしょ</sup>胃に宮川水力発電所がつくられ、見物人があちらこちらから<sup>あつ</sup>集まったということです。



▲高田や永井野についたガスとう



▲宮川水力発電所